

## 内閣総理大臣御発言

平成十三年二月十五日（木）  
第二回総合科学技術会議

本日は熱心なご議論を頂きありがとうございました。

科学技術に関する総合戦略につきましては、次回会議で是非答申をいただき、本年三月までに、政府として来年度から五カ年の科学技術基本計画を策定して、「科学技術創造立国」の実現に向け、研究開発の重点的な推進、研究開発システムの改革や科学技術振興のための基盤の整備を進めてまいります。

最近の科学技術の動向についてもご説明いただきました。ヒトゲノムの解読データが公開され、ヒト遺伝子の数が明らかになる等大きな進展がありました。これは、生命科学研究の重要な基盤となる科学史上もっとも輝かしい成果の一つであり、研究者の努力と熱意に深く敬意を表します。

今後は、「ポストゲノム研究」の戦略的推進について、総合科学技術会議において、重点的に取り組んでまいります。

今後とも、重要な政策課題に対して機動的かつ的確に対応できるよう、最新の科学技術の動向につき報告を受けることといたします。特に有識者の議員の皆様には、是非ともご協力をお願いいたします。

また、海外のクローン人間計画については、私の指示に基づき、笹川科学技術政策担当大臣と町村文部科学大臣が関係大臣と協力しつつ様々な対応を行っております。クローン人間の産生は容認できないとする国際的な認識に従って、国際的な協調のもとで、世界各国が適切な措置をとっていくことが重要です。引き続き、我が国として、このことを国内外に向けて、はっきりと発信してまいります。

最後に、科学技術は尽きることのない知的資源であり、その振興は、「希望の世紀」実現に向けた未来への先行投資と言えるものです。引き続き、議員の皆様のご尽力をお願いし、ご挨拶といたします。